

# 数学b・経営数学b(2006年度)レポートに関する注意事項

以下のとおり、レポートと称した「小テスト」を行なう。この注意事項をよく読み、しっかり勉強しておくこと。

実施日時： 2006年12月18日(月曜日)

1限 「数学b」 : 9:10 ~ 10:20 (70分)

2限 「数学b」 : 10:50 ~ 12:00 (70分)

3限 「経営数学b」 : 13:20 ~ 14:40 (80分)

実施場所： 通常授業時と同じ教室(1限:1-301, 2限:1-301, 3限:1-403)

ルール：

1. 遅刻は試験開始から20分経過するまで認めるが、試験時間の延長はしない。電車等が遅れた場合は遅延証明書を持参すればいくらか考慮する。
2. 途中退室は、試験開始から20分経過して担当教員の指示があるまで認めない。
3. 授業中に配布した(講義支援システムから印刷した)プリント、自筆ノートのみ持ち込みを認める。ただし、上記以外のものやノート・参考書等のコピーは持ち込み不可とし、持ち込んだ資料を複数人で使用することも不可とする。また、他人と相談することも不可とする。許可されていない行動をすると不正行為となる。
4. 携帯電話は電源を切り、カバンにしまうこと。携帯電話を時計として使うことは出来ない。必要があれば腕時計等を持参すること。試験時間中に携帯電話を使用した場合は不正行為となる。
5. カンニングや上述の不正行為が発覚した場合、当該学生のレポートを0点とし、最終成績をCまたはFとする(課題の得点による)。
6. レポート問題において、\* マークのついた問題は答えのみでよい(計算過程や説明が無くてもよい。このことはレポート問題用紙にも明記する)。その他の問題では、計算過程やその答えに至った理由・考え方を、数式や日本語などで分りやすく説明すること。説明が必要と思われる箇所では説明がない場合、説明が飛躍していて内容が理解できない場合は、たとえ答えが合っていたとしても満点を与えることはできない。

その他：

1. 不合格者の救済措置は一切行なわない。
2. 過去の課題は、答えが正しくても計算過程や考え方に間違いがある場合は減点してあるので、単に答えが合っていたからといって満点であるとは限らない。逆に、答えまでたどり着けなくてもある程度理解していることが伝わる答案であれば部分点を与えている。また、他人の答案を写した、他人に答案を写させたと思われる箇所は0点としてある。このように、課題の得点は各自の予想とは異なることも多いので、それは気にせずこのレポートで高得点を取るよう努力すること。なお、授業中に教えた解法以外の方法で解いてあっても、考え方や計算に間違いが無ければ正解としている。これらの採点方法は今回のレポートでも同様である。